

## 訳者まえがき

### ファシリテーションとは

この本の原題は“Facilitation - a door to creative leadership -”である。ファシリテーションとは何だろう。ファシリテーションを辞書で引くと、「促進すること」とか「助長すること」という意味が載っている。いったい誰が何を促進したり、助長したりするのであろう。もとよりファシリテーターがクライアントの問題解決を促進したり、助長したりするのである。

ファシリテーターがクライアントの問題解決を促進したり、助長したりするときと、ついつい、ファシリテーターがクライアントの問題解決に積極的にかかわり、有効な解決策を提示し、クライアントはそれを用いて問題を解決するというイメージがでてくる。しかし、この本を読み進めればわかるように、そのようなイメージは当たっていない。ファシリテーターはあくまで、問題解決のセッションとプロセスを制御する仕事に専念し、問題解決への有効なアイデアや解決方法を提示する役割は演じない。それらの役割を担うのは、「リソース・グループ：支援集団」と「クライアント」自身である。

本書の姉妹版である「創造的問題解決」には、さまざまなアイデアを出してそれを整理する中で「本質的な問題」を掴み取り、さらにその問題を解決するために各種の「発散ツール」を活用して多量のアイデアを出し、その中から現実に即したよりよい解決策を「収束ツール」を用いて決定し実行に移すという一連の「創造的問題解決」の方法がまとめられている。当然のことながら、この創造的問題解決のセッションとプロセスを制御して、よりよい解決に到るように導いていくのがファシリテーターであり、ファシリテーターの演ずる役割がファシリテーション、すなわち創造的リーダーシップである。創造的リーダーシップは、クライアント自身の問題解決力を伸張するという教育的側面も含んでいる。

### 新教育基本法と創造的リーダーシップ

教育基本法が60年ぶりに改訂された。もとより、教育基本法は、日本のこれからの教育の方向を示したものである。旧基本法とは異なり、教育の諸目標が明確に打ち出されている。その1つが「個性と創造性の育成」である。基本法の精神は学習指導要領に受け継がれ、それを基に教科書が作られる。個性と創造性の育成は、学校教育の重要な目標の1つになったのである。

教室において、教師どのようにして児童・生徒の個性や創造性を伸ばせばいいのであろうか。その目標に迫る1つの手がかりが、創造的問題解決と創造的リーダーシップにある。教師が創造的問題解決ツールに熟知し、児童・生徒の問題解決に対して創造的リーダーシップをもって臨めば、自主・自立の精神をもった児童・生徒が育つであろう。

この本の内容は、大学生や社会人などのすでに一定以上の知識やスキルや問題解決力を付けた人向けに書かれている。未だ知識やスキルや問題解決力が発展途上にある児童・生

徒を対象とする場合には、工夫が必要になる。多くの教師が教科や総合的学習等において実践を深め、試行錯誤を重ねて高い創造的問題解決力をもった児童・生徒を育成することを望んでいる。

2007. 4. 25.

訳者一同

## もくじ

訳者前書き

原著者の日本語版への序

歓迎	4
コースについて	5
コース目標	6

### I 章 ファシリテーションの基本

1. プロセス vs 内容
2. CPS セッションの役割
3. CPS ファシリテーター
4. クライアント
5. 資源集団
6. CPS ファシリテーターについての真実
7. CPS ファシリテーションのタイプ
8. ファシリテーターのためのガイドライン

### II 章 セッションに向けての準備

1. クライアントと会合する
2. 会合中は
3. データを収集せよ
4. CPS は適切か
5. CPS 診断
6. クライアント・インタビュー・ワークシート
7. クライアントを指導する

8. フリップチャートの準備
9. 準備用品と後方業務
10. 理想的な部屋の設置
11. CPS ファシリテーター用フィードバック書式

### III章

1. セッションを開始する 28
2. セッションをちゃんとスタートさせる 30
3. ウォーミングアップ・エクササイズ 31
4. 創造的に質問する 32
5. 待ち時間 33
6. セッションを閉じる 34
7. 集団発達のステージ 36
8. チームの効用 37
9. 集団サイズ 38

### IV章

1. 挑戦を探索性せよ 43
2. アイデアを生成せよ 53
3. 行動を準備せよ 57

### V章 上級ファシリテーション用の有用情報 63

1. ファシリテーターに人気のある情報(FAST) 64
2. ヒーローとしてのファシリテーター 66
3. ファシリテーターの話術 70
4. 資源集団の選択 72
5. CPS ツールボックス – 発散 74
6. CPS ツールボックス – 収束 75
7. ファシリテーター便利帳 76

### VI章 付録

1. ファシリテーター自己評価表 81
2. ワークシート 85
3. さらに学習するために 100
4. 文献 101

